

# 拓殖大学北海道短期大学

## 【農学ビジネス学科社会人特別奨学生制度】

## 【地域振興特別奨学生制度】



### 制度の目標・目的

拓殖大学北海道短期大学は、設立当初より北海道深川市をはじめとする北空知地域における唯一の高等教育機関として、基幹産業である農業の後継者育成など地域に密着した人材育成を実施している。

二つの奨学生制度は、地域社会における有能な人材の育成による地域の活性化に寄与することを目的としている。

2000年4月に新学科設立に伴う生涯教育への取り組みが文部科学省からの認可附帯事項となったことを受け、社会人学生の確保に向けた検討が開始された。市へ協力を仰ぎ、支援金の捻出等、度重なる交渉を経て「環境農学科社会人特別奨学生制度」が制定された。現在は「農学ビジネス学科社会人特別奨学生制度」に名称変更されている。

2009年には新たに「地域振興特別奨学生制度」が制定された。

### 制度内容

#### (1) 農学ビジネス学科社会人特別奨学生制度

生涯学習を目的とした社会人を対象とした支援制度である。募集人数は若干名とし、入学金と諸費を除く学費の全額を免除している。

社会人入学生制度に基づき、入学試験日に面接試験を実施し、出願理由書と併せて総合的に判定している。

#### (2) 地域振興特別奨学生制度

深川市在住の高校生及び深川市内の高等学校へ通う高校生への支援制度である。募集人数は20名以内とし、入学金と諸費を除く学費の全額を免除している。

高校での評定を問わず、面接と小論文による試験をAO入試制度に準じて実施している。進級時には成績評価やGPAを審査対象とし、入学後も継続して勉学へ励めるような制度を構築している。

先述の通り、二つの奨学生制度は市との協力によって実現されたものである。財源は市からの支援金であり、募集人員及び予算については毎年、市と協議した上で決定している。

### 実施後の変化

地元出身の学生が活躍できる場を提供し、地域活性化の一躍を担う人材を輩出することへとつながっている。特に農学ビジネス学科では地域の基幹産業である農業の後継者育成の役割を担っており、市とタイアップした活動が促進される結果となった。

当大学の奨学生制度を活用するために市内の高等学校へ入学を希望する学生も増え、子ども達の市外流出防止にもつながっている。

### 今後の課題・展望

奨学金活用による経済的負担軽減を念頭に入学を決断した学生には、入学後に向学心を維持させる必要がある。入学志願者に対してはオープンキャンパスや高校訪問及び出前授業等を通じて強い志望動機を持つことができる取り組みを進めている。

当大学の取り組みは市をはじめ市内の高等学校、農業関係及び地元企業等、あらゆるステークホルダーが一丸となることで実現されている。受け入れた学生を地元で活躍できる人材として社会へ送り出す責任を果たすべく、今後も市との強力な関係を維持しながら地域の発展へ貢献したいと考えている。